

# 将来のくらし【社地区】を考える

※回収分(18人)

## ①地区の状況はどうか(■元気が・・・)

項目	理由
とてもある	・自治公民館、地区公民館とも、とても活発に行われているように思う。
ある	・地域ボランティアでたくさんの方にお世話になっているが、とても好意的で進んで協力して下さる。
	・明るく元気がある。(五輪まつり、陶芸、学校への協力)
	・他地区に比べ行事が多く、社公民館も事業を拡大している。
	・地域活動が盛ん。その中で小学校との連携は不可欠だが、温度差を感じる。
	・若い年代を取り込んだ“ペ！やしろ”など、工夫が見られる。社カフェなど気楽に立ち寄れる雰囲気も良く、良い意味で活性化してきている。
	・PTA会長さんを中心に紙灯笼作りなどボランティアでされたり、地域行事が活発に行われている。
	・子ども達をあたたく見守っていく雰囲気がある。
ややない	・若い人達が、地区を離れてしまうため高齢者が増える。
	・地区の小規模単位である町内が少子化で、果たして活性化があるのかどうか。

## ②学校の現状について(■児童が・・・)

項目	理由
とても活発	・地域学校委員として、学校の様子を見た印象から活発だと思う。
活 発	・あいさつや返事の声が大きい。
	・上級生が下級生の面倒をよく見ている。
	・学校行事に一人ひとりが意欲的に取り組んでいる。
	・我先にと主張する子どもは少ないが、とても素直で元気がある。
ややおとなしい	・とても素直だが、率先して何かの役に立候補する子どもは少なめ。
	・学校から帰ってからの遊ぶ友達が少ないと思う。
	・外で遊んでいる児童を見かけない。

## ③小学校適正配置について気がかりな点について

項目	理由
学力 人間関係 集団活動	・大規模になればそれだけ総合的な学習など、地域の学習に広がりが出る。
	・1学級あたりの人数が多すぎる。1クラス25人くらいが良い。
	・高城小、北谷小の高学年の児童が、途中から統合した場合に心細さはないか心配する。
	・学級数が増え、上手にコミュニケーションが築けるかどうか心配。
	・家族的な雰囲気も良いが、切磋琢磨していく環境は必要。人間関係、とくにコミュニケーションの取り方については、社会に出てから企業等は、そういうことが上手に出来る人を求めるので、統合した方が良い。

地域の 衰退化	・高城地区、北谷地区、社地区の中で地域活動における児童の役割をどう考えるのか。
	・母校の統合により、明らかに地域が衰退した。
	・小学校が近くにない地域に、今の子ども達が大きくなって帰って来てくれるのかと、不安に思う。
計画の スピード	・統合するなら早めにしてほしい。時期より今いる子ども達の兄弟問題から。
	・最終的には行政の言いなりになるのではないか。
その他	・学校統合については、何も心配はしない。それに伴って地域の行事が影響を受けると思われるが、その全体像が掴めない点が気がり。
	・児童数に対する施設の大きさ、教室の数、校庭の広さ、プールの大きさなど気がり。

#### ④解決する手がかりについて

・高城地区、北谷地区の方が納得できる案を考えること。
・子ども達は大丈夫なので、大人の方を何とか理解してもらうこと。
・北谷地区、高城地区に対する社地区の交流(地域の衰退化を防ぐ)。統合される立場を考え、ベストな方向へ導くこと。

#### ⑤小学校適正配置協議会で話し合うべき内容

・子どもにとってのメリット。
・住民意見の吸いあげ、課題を明確化する。情報の周知と啓発。
・出ている気がりな点に正しく回答していく仕方。
・対等な統合であることを確認すること、学力向上を重視し、将来のくらしが発展する素地を創る。
・地域活性化と切り離して、子ども中心に考えていくべき。納得するまでというのは、いつまで経っても学校統合出来ない。
・社地区だけの意見集約では駄目で、他地区のことも考えながら対等統合として、ひとつの学校を作っていくという視点での話し合いが必要だと思う。

# 将来のくらし【社地区】を考える

く

①地区の現状はどうか

■元気が

(とてもある・ある・ややない・ない)

理由：

ら

②学校の現状について

■児童が

(とても活発・活発・ややおとなしい・  
おとなしい)

理由：

し

③小学校適正配置について気がかりな点について

(学力・人間関係・集団活動・地域の衰退化・計画のスピード・財政面・その他)

理由：

よ

④解決する手がかりに  
ついて

(①～③の課題・問題点を  
解決する方法など)

し

⑤小学校適正配置協議会で  
話し合うべき内容



## 住みたい社地区